

# シーボーク1000MT

## 道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」

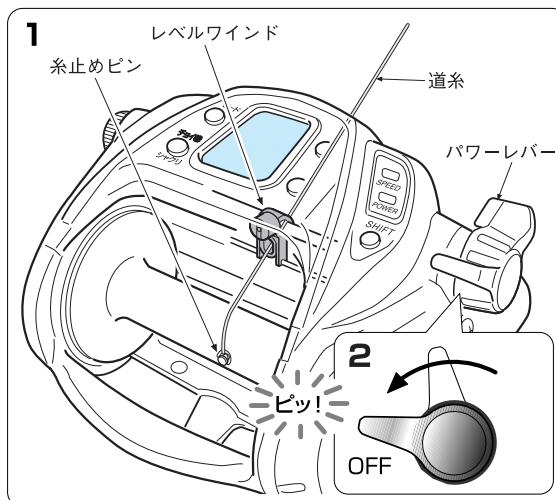
P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時に便利な方法です。  
(PE6号1000mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

### 1. 道糸をレベルwindに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。  
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

### 2. パワーレバーを手前に戻します。



### 3. リールを通电させ、表示が 0.0 のときにモードスイッチを5秒間押し続けてください。

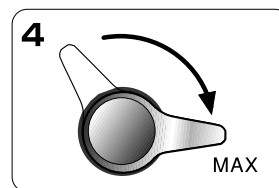
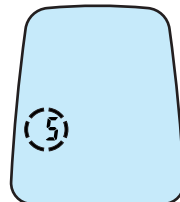
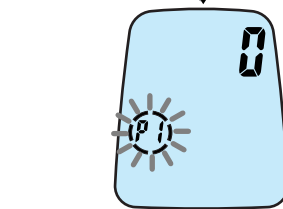
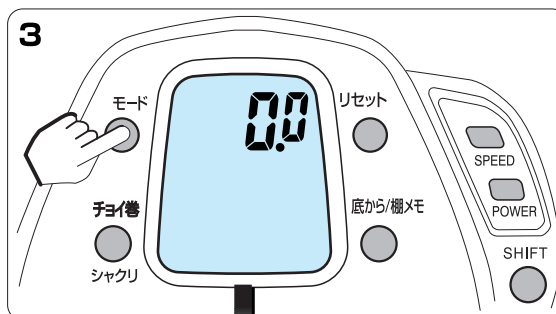
右図のような表示に変わり P1 が点滅します。  
※ドラッグがゆるんでいると糸が巻けませんので、しっかりとドラッグを締め込んでください。

### 4. パワーレバーをMAXの位置まで倒して道糸を巻きます。

※安全のため、パワーレンジでスタートします。  
(変速は可能です)

パワーレバーを倒して糸を巻きはじめると P1 (画面左下の数字) がテンション表示になり、上のカウンターの数値が増えていきます。(スプールの回転数を表示します。)

テンション表示数字がパワーレンジでは4~5、スピードレンジでは6~8になるようにテンションを調整して巻いてください。



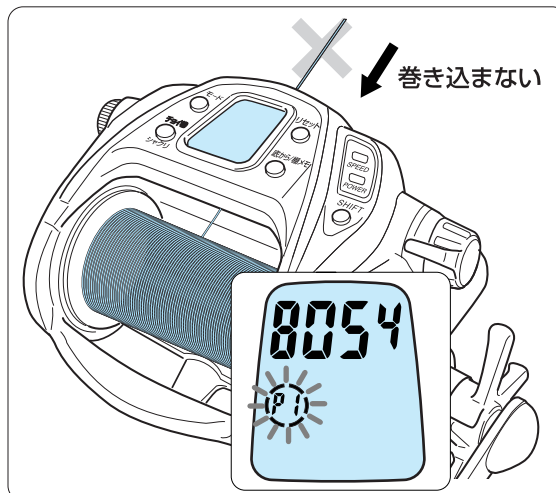
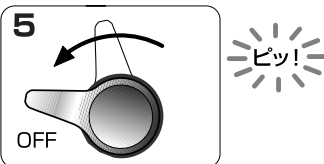
- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間(15分以上)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になりますので、電動での巻上げを自動で停止します。できるだけ速いスピードで糸巻きを行ってください。もし停止した場合は、手巻きで巻いて入力してください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

5. 巻き終わったらレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



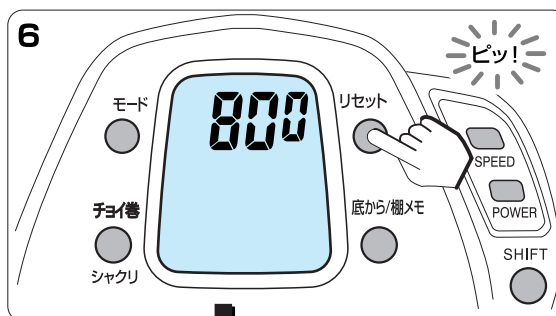
・糸の端を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

※右図の上のカウンター数値は例として表示していますので、実際の数値とは異なる場合があります。



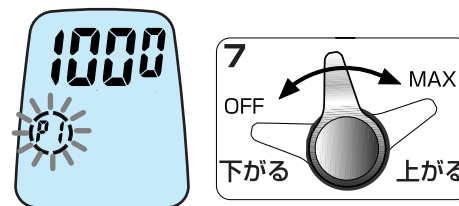
6. **リセット** スイッチを2秒以上、表示が **800** になるまで押してください。

(800は初期値です。)



7. パワーレバーで、道糸の長さをセットします。

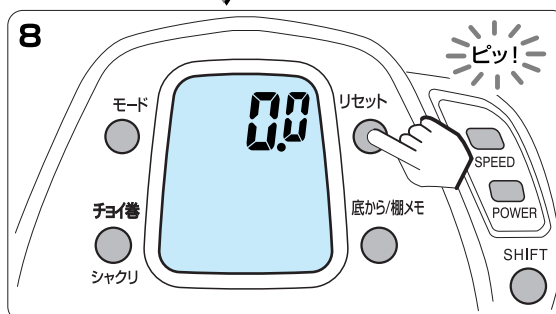
(図は、1000m入力する場合です。)



8. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

アラーム音が鳴り、表示が **0.0** になれば完了です。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力、または引出し入力 (P.20,21) を行ってください。



# 道糸入力方法「下巻き入力」

## P2 下巻き入力

下巻きをする時の方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

**1.**下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通电させてください。

※付属の糸通しピンを使うと簡単に通せます。  
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

**2.**パワーレバーを倒して下巻用の糸を巻きます。

※パワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから操作してください。

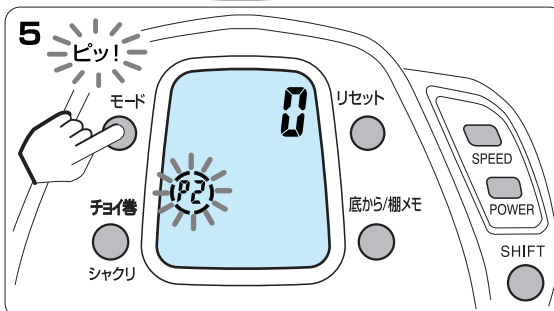
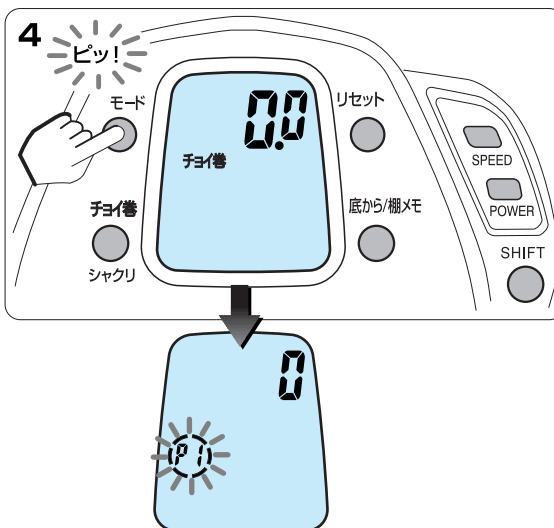
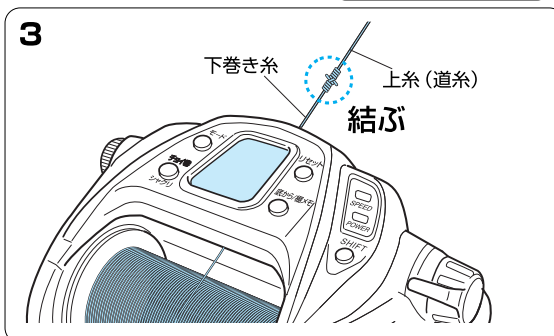
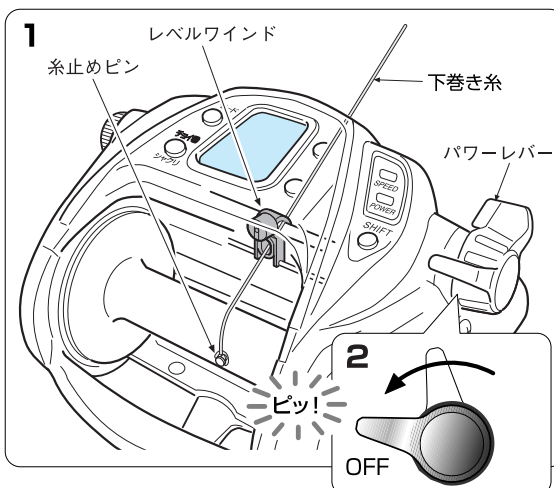
**3.**下巻用の糸を巻き終わったら(糸を全部巻き込まないよう注意してください)上糸をしっかり結びます。

**4.**表示が **0.0** のときに **モード** スイッチを5秒間押し続けてください。

**P1** が点滅します。

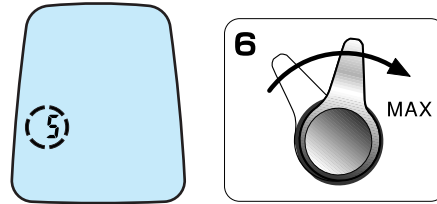
**5.**入力画面になったらもう一度 **モード** スイッチを押して下巻き1入力画面にしてください。

**P2** が点滅します。



**6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。**

パワーレバーを倒すと **P2** (画面左下の数字) がテンション表示に変わり上のカウンターの数値が増えていきます。



※安全のためパワーレンジでスタートします。  
(変速は可能です。)

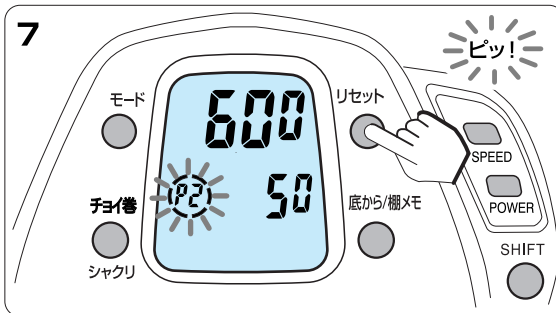
テンション表示数字がパワーレンジでは4~5、スピードレンジでは6~8になるようにテンションを調整してください。



- ・フィンガーガードに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。できるだけ早いスピードで入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。

**7. リセット** スイッチを2秒以上押してください。

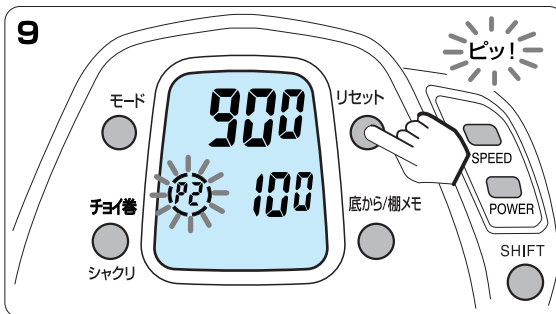
**P2** が点滅し、下のカウンターが **50** になります。  
※右図の上のカウンター数値は例として表示していますので、実際の数値とは異なる場合があります。



**8. テンションをかけて糸色に注意しながら50mを巻いてください。**

**9. リセット** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **100** になります。  
※右図の上のカウンター数値は例として表示していますので、実際の数値とは異なる場合があります。



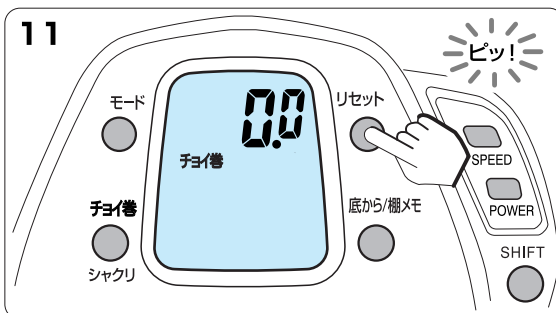
**10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。**

**11. リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **0.0** m になり完了です。



- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力、または引出し入力 (P.20,21) を行ってください。



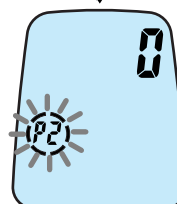
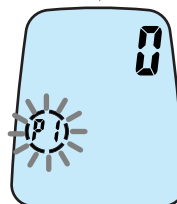
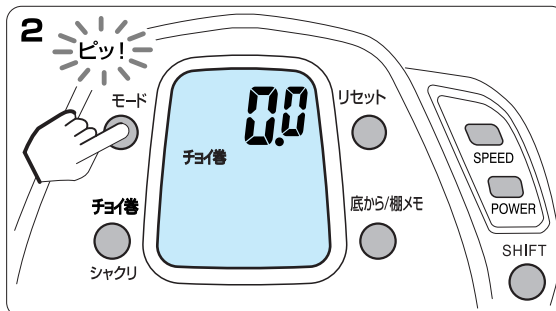
# 道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

道糸を巻き終わった状態から糸を引出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1. 通电させてください。

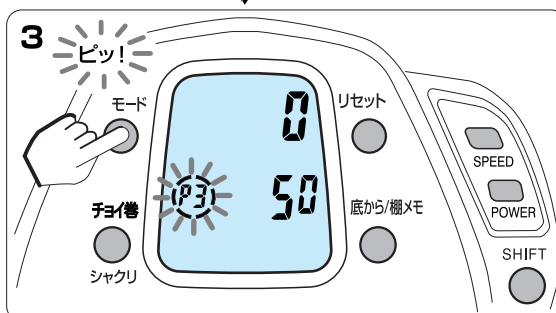
2. **モード** スイッチを5秒以上押して **P1** モードにします。



3. さらに **モード** スイッチを2回押して、引出し入力画面にしてください。

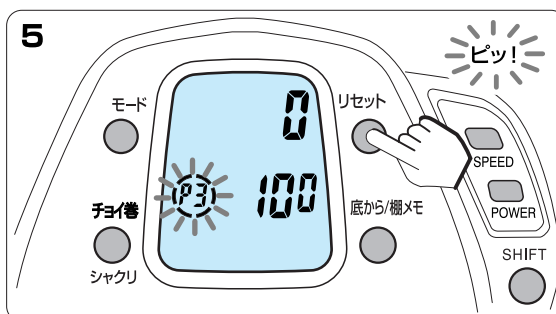
**P3** が点滅します。

4. 糸のマークに注意しながら、50m引き出します。



5. **リセット** スイッチを2秒以上押してください。

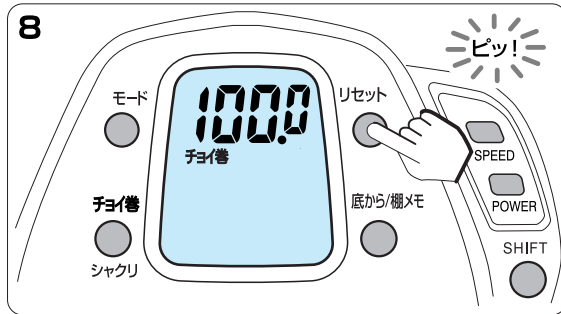
下の数字が **100** になります。



6. さらに糸のマークに注意しながら50m引き出してください。

7. **リセット** スイッチを2秒以上押して表示が **100.0** mになります。

8. 引き出した糸を100m巻き取り完了です。



・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。

※ **Err** になった場合は、**モード** スイッチを押して始めから再度入力をしてください。